

FMアップルウェーブ 第82回放送番組審議会

開催日時

平成25年10月19日(土)12:00~13:00

開催場所

菊富士(弘前市坂元町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 工藤 茂起
委員 鳴海 清彦、佐藤 浩之、渋谷 拓弥、太田 真理子

会社側出席者

代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、取締役:倉田 昌直
放送部マネージャー:花田 由香子

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について 12月16日(月)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1)課題番組 『高校生万歳!』(毎週日曜日 20:00~)

- ①音楽とトークの音量バランスが悪い。音楽が大きく、トークの声が聴きとりにくい。映画の話題から派生はしているものの、音楽などとの関連付けが薄い。高校生らしく初々しいトークは聴いていて楽しい。
- ②素人の高校生が番組制作するにあたって基本的な番組作りについてある程度勉強が必要なのではないか。また、忌み言葉は使わないように指導が必要。担当チームの紹介について、高校やローテーションについてどうなっているのかなどが明確になるようにしてほしい。
- ③まず、この番組が続いていることを嬉しく思う。番組のコンセプトが伝わってこない。時間的にも、世代の違う人がこの番組を聴いて、今の高校生がどんなことを思っているのか、何に興味を持っているのか、どんな学校生活を送っているのかがわかる番組内容であってほしい。高校生は津軽弁で話して欲しい。
- ④番組冒頭にコンセプトを伝えるだけでもっと聴きやすくなるはず。思い出せないことやわからないことが出てきた場合、しっかり調べて話を進めて欲しい。BGMが大きく、出演している3人の声の大きさがバラバラで、声が聴こえない人がいる。「あるある」のコーナーがあまり共感できなかった。素人っぽさが強すぎるのももう少し工夫が必要。
- ⑤メインテーマなどが無く、校内放送を聴いているようだった。番組として何を伝えたかったのかが最後までわからなかった。きつい言葉やツッコミがあり、今の高校生の会話はこうなのか、と思ったが放送にはふさわしくないのでは。
- ⑥今の高校生が何を考えているのかがわかるような、もっと突っ込んだ内容の話をしてほしい。音楽番組ではないにしろ、選曲理由が一言でもあれば良かった。あまり元気な印象がなかった。もっと指導をした上で制作すれば高校生たちも育つのではないか。

【審議機関の答申または改善】

ミキシングの問題など、CAST制作の番組に対する改善点をアップルウェーブ側からしっかり伝え、改善を図ること。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載